

## 取扱説明書



雨が侵入しないよう3回以上巻き込みます（2回目の位置にあるベルクロを合わせてください）。



両サイドのバックルをはめ込みます



荷物が多い場合はコンプレッションベルトを引いて圧縮します。

## ! 注 意

- 角が鋭い重量物を入れると生地が破損する恐れがあります。その場合はパッキン等に包んで収納してください。
- 火災の原因となりますので携帯ガソリンボトル、ガスボンベ等の危険物は入れないでください。
- 本製品は外部からの浸水には強い構造となっておりますが、バッグ内部と外側の温度差より結露が発生し荷物が湿る場合があります。特にバッグがマフラー等の発熱部品の近くにある場合や、長時間の雨天走行をしますと、内部が結露しやすくなりますのでご了承ください。
- バッグの外側がぬれた状態で開けますと、入り口部の水滴等が中に流れ落ちることがありますのでご注意ください。
- 本製品は、口の閉め方によって水が浸入する場合があります。
- 完全防水ではありませんので水没や激しい雨天での走行では浸水する可能性があります。電子機器や大切なお荷物はビニール袋等と併用し、より高度な浸水対策をお勧めいたします。
- バッグ本体や余ったベルト等がマフラー エンジン等の高温部、サスペンションやハンドル等の可動部、チェーンやホイール等の回転部に本製品が触れないようご注意ください。
- 法定速度を超えるスピードでのご使用は大変危険ですのでおやめください。
- ご使用される際に安全な運転に支障がないことを必ずご確認ください。
- お子様が本製品を被って遊んだりしますと、大変危険な事故になる可能性がありますので、お子様の手の触れない場所へ保管してください。
- 仕様は改良のため、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

## 保管とお手入れの方法

- 表面等の汚れは、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取ってください。
- 保管の際は乾拭き・陰干しをしてから湿度が低く風通しの良い場所に保管してください。



## ! 注 意

ベンジン、シンナー等の使用は、生地を痛める原因となりますのでお避けください。